



4つのだいじ 1. あいさつはだいじ 2. ともだちはだいじ
3. そうじはだいじ 4. チャレンジはだいじ

校長 俵 泰隆

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

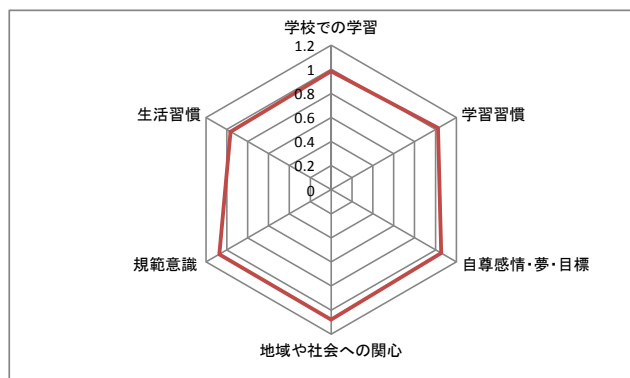
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的には全国平均正答率をやや下回っていたが、書く能力については基礎ができていた。 ・話す・聞く力を問う問題に課題があり、筋道を立てた話し合いや聞く態度などを習慣化する必要がある。	下回っている
国語B	・全国平均正答率と同程度で、昨年度よりも上昇傾向にある。 ・話す・聞く問題に課題がある。話し手の意図を捉え、自分の意見と比べながら考えをまとめる問題で課題がある。	同程度
算数A	・全国平均正答率を下回っており、昨年度よりも下降傾向にある。 ・数量や図形についての知識・理解に関する問題に課題がある。	下回っている
算数B	・全国平均正答率を下回っており、昨年度よりも下降傾向にある。 ・数量や図形についての知識・理解に関する問題に課題がある。	下回っている
理科	・全国平均を下回っていたが、自然事象についての知識・理解の基礎的な内容が身に付いている。 ・観察・実験の技能に関する問題に課題がある。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・読書を好きな児童の割合は増加した。
- ・新聞を毎日、読んでいる児童の割合は増加した。
- ・朝食を毎日、食べている児童の割合は全国平均よりも低く、昨年度よりも減少した。日頃から、朝食を食べるように声をかける必要がある。
- ・将来の夢や目標を持っている児童の割合は全国平均よりも多いが、昨年度よりも減少した。日頃から夢を抱くための手立てとして、具体的な目標を設定させていく機会を設定する必要がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・朝のチャレンジタイムでMIMを活用し、書く力と言葉の力を高める学習に取り組んでいる。
- ・学校全体で1時間の授業で学びボードという学び合いのためのボードを活用して、自分の考えを交流できる時間を設定している。
- ・放課後学習の時間で、算数や理科などのプリントに取り組み、基礎的・基本的な内容の定着を図っている。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・1週間の学校生活や家庭での自学、宿題などを児童自身が振り返り、家庭と学校がその状況を把握し、励ましていくための「とうのびっこカード」を作成し、学習内容や時間の把握に活用している。カードに励ましのコメントを書き、学校や家庭での生活習慣の確立を目指している。